

病院事業特別会計

1 事業の概況

(1) 業務実績

病院事業においては、地域医療の担い手として、また、地域包括ケアシステムにおける高度急性期・急性期医療を提供する県下の中核的な医療機関としての役割を果たしている。

当年度は、外来化学療法室や脳卒中集中治療室（SCU）の充実を図るとともに、最新の高度医療機器を購入するなど、さらなる医療機能の強化や診療体制の充実に努めたほか、地域医療機関との連携を推進した。

また、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、同感染症の重点医療機関として県の指定を受け、院内体制や機器の整備を行い、重症・中等症以上の患者に対応した。

さらに、電子カルテシステムの更新や患者用W i f i 環境を整備・提供するなど、患者の利便性の向上を図るとともに、病院事業経営計画の推進に努めた。

このほか、令和元年度に実施した医療需要調査を踏まえ、病院の機能や体制について、建物の増改築の可能性を含め、調査・分析を行うため、病院機能整備調査を行った。

業務実績を前年度と比較すると、入院及び外来を合わせた全体の患者数は 354,789 人で、24,003 人（6.3%）減少しており、そのうち入院患者数は 175,323 人で 12,867 人（6.8%）、外来患者数は 179,466 人で 11,136 人（5.8%）それぞれ減少している。

また、1日平均患者数は、入院が 480 人で 34 人（6.6%）、外来が 742 人で 49 人（6.2%）それぞれ減少している。

病床利用状況は、病床利用率が 83.7%で 5.9 ポイント低下し、入院患者の平均在院日数が 11.7 日で 0.2 日（1.7%）長くなっている。

業 務 実 績

区分	単位	2 年 度 (A)	元 年 度 (B)	前年度比較			
				増減 (A)-(B)	増減率		
患 者 数	入 院	人	175,323	188,190	△ 12,867	△ 6.8 %	
	外 来	人	179,466	190,602	△ 11,136	△ 5.8 %	
	合 計	人	354,789	378,792	△ 24,003	△ 6.3 %	
	一 日 平 均	入 院	人	480	514	△ 34	△ 6.6 %
		外 来	人	742	791	△ 49	△ 6.2 %
病床 利用 状況	病床利用率	%	83.7	89.6	ポイント △ 5.9	—	
	入院患者の 平均在院日数	日	11.7	11.5	0.2	1.7 %	

1日平均患者数の推移

(単位：人，%)

区 分		28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	前年度比較	
							増 減 (B) - (A)	増 減 率
1日平均 患者数	入 院	506	520	514	514	480	△ 34	△ 6.6
	外 来	730 (243日)	749 (244日)	765 (244日)	791 (241日)	742 (242日)	△ 49	△ 6.2

(注) ()は、外来の診療日数

病床利用状況の推移

区 分	単位	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	前年度比較	
							増 減 (B) - (A)	増 減 率
入院患者延数	人	184,589	189,646	187,698	188,190	175,323	△ 12,867	△ 6.8
年間病床延数	床	209,510	209,510	209,510	210,084	209,510	△ 574	△ 0.3
病床利用率	%	88.1	90.5	89.6	89.6	83.7	ポイント △ 5.9	—

(2) 診療科別患者数

診療科別患者数を前年度と比較すると、増減の主なものは、産婦人科が 36,871 人で 4,314 人 (10.5%)、耳鼻咽喉科が 13,456 人で 3,928 人 (22.6%) の減、一方、腫瘍内科が 11,301 人で 2,919 人 (34.8%)、血液・膠原病内科が 14,169 人で 2,125 人 (17.6%) の増である。

診療科別患者数

(単位：人，%)

診療科	2年度 (A)	元年度 (B)	前年度比較	
			増減 (A)-(B)	増減率
産婦人科	36,871	41,185	△ 4,314	△ 10.5
消化器内科	24,842	24,976	△ 134	△ 0.5
新生児内科	24,261	27,633	△ 3,372	△ 12.2
泌尿器科	21,888	20,217	1,671	8.3
循環器内科	18,817	20,477	△ 1,660	△ 8.1
呼吸器内科	17,070	16,792	278	1.7
小児科	16,246	18,369	△ 2,123	△ 11.6
整形外科	16,040	15,941	99	0.6
眼科	15,726	17,242	△ 1,516	△ 8.8
脳神経内科	15,182	16,175	△ 993	△ 6.1
脳神経外科	14,308	16,551	△ 2,243	△ 13.6
血液・膠原病内科	14,169	12,044	2,125	17.6
消化器外科	13,479	14,021	△ 542	△ 3.9
耳鼻咽喉科	13,456	17,384	△ 3,928	△ 22.6
歯科・歯科口腔外科	11,868	14,369	△ 2,501	△ 17.4
形成外科	11,697	13,259	△ 1,562	△ 11.8
腫瘍内科	11,301	8,382	2,919	34.8
救急科	8,988	12,258	△ 3,270	△ 26.7
糖尿病・内分泌内科	8,965	9,707	△ 742	△ 7.6
腎臓内科	7,251	7,589	△ 338	△ 4.5
放射線科	5,874	6,264	△ 390	△ 6.2
乳腺外科	5,172	5,461	△ 289	△ 5.3
皮膚科	4,716	5,715	△ 999	△ 17.5
心臓血管外科	4,598	4,624	△ 26	△ 0.6
呼吸器外科	4,482	4,357	125	2.9
小児外科	4,434	4,251	183	4.3
麻酔科	1,878	1,848	30	1.6
内科	974	1,364	△ 390	△ 28.6
精神科	236	337	△ 101	△ 30.0
合計	354,789	378,792	△ 24,003	△ 6.3

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額 219 億 8,394 万円に対し、決算額 225 億 8,429 万円で、6 億 34 万円の増、収入率は 102.7%となっている。決算額が増となった主な要因は、医業外収益が 4 億 1,424 万円増となったことである。

収益的支出は、予算額 246 億 5,527 万円に対し、決算額 234 億 9,497 万円で、11 億 6,030 万円の不用額が生じ、執行率は 95.3%となっている。不用額の主なものは、医業費用の 10 億 4,546 万円である。

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円、%)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	収入率 (B)/(A)
病 院 事 業 収 益	21,983,949	22,584,295	600,346	102.7
医 業 収 益	20,356,758	20,557,059	200,301	101.0
医 業 外 収 益	1,268,791	1,683,037	414,246	132.6
特 別 利 益	358,400	344,198	△ 14,201	96.0

支 出

(単位：千円、%)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度 繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
病 院 事 業 費 用	24,655,279	23,494,972	0	1,160,306	95.3
医 業 費 用	23,249,084	22,203,615	0	1,045,468	95.5
医 業 外 費 用	993,440	931,538	0	61,901	93.8
特 別 損 失	407,755	359,819	0	47,935	88.2
予 備 費	5,000	0	0	5,000	—

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額 28 億 2,937 万円に対し、決算額 26 億 781 万円で、2 億 2,155 万円の減、収入率は 92.2%となっている。決算額が減となった主な要因は、企業債が 2 億 4,230 万円減となったことである。

資本的支出は、予算額 38 億 3,909 万円に対し、決算額 36 億 8,662 万円で、1 億 5,246 万円の不用額が生じ、執行率は 96.0%となっている。不用額の主なものは、建設改良費の 1 億 4,745 万円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 10 億 7,881 万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 621 万円、過年度分損益勘定留保資金 10 億 7,259 万円で補てんしている。

資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円, %)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	収 入 率 (B)/(A)
資 本 的 収 入 (C)	2,829,370	2,607,812	△ 221,558	92.2
企 業 債	2,052,700	1,810,400	△ 242,300	88.2
出 資 金	518,041	518,041	0	100.0
補 助 金	106,752	107,604	852	100.8
県 支 出 金	151,183	164,811	13,628	109.0
国 庫 支 出 金	694	6,956	6,262	1,002.3

支 出

(単位：千円, %)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度 繰越額	不 用 額	執 行 率 (B)/(A)
資 本 的 支 出 (D)	3,839,091	3,686,629	0	152,461	96.0
建 設 改 良 費	2,689,635	2,542,175	0	147,459	94.5
企 業 債 償 還 金	1,144,453	1,144,452	0	0	100.0
予 備 費	5,000	0	0	5,000	—
そ の 他 資 本 的 支 出	3	2	0	0	67.9

決 算 額 差 引 (C)－(D)	△ 1,078,817 千円
-------------------	----------------

3 経営成績

経営成績をみると、総収益は225億2,952万円、総費用は234億5,376万円で、差引き9億2,424万円の純損失となっている。

これを前年度と比較すると、総収益は6億9,833万円、総費用は13億9,161万円それぞれ増加し、純損失は6億9,327万円増加している。

総収益が増加した主な要因は、特別利益が3億4,402万円、医業外収益が2億6,799万円それぞれ増加したことである。

総費用が増加した主な要因は、医業費用が7億8,293万円、特別損失が3億5,212万円それぞれ増加したことである。

経営成績の推移

(単位：千円, %)

年 度	総 収 益		総 費 用		損 益 (A) - (B)
	金 額 (A)	対前年度 増 減 率	金 額 (B)	対前年度 増 減 率	
2 8	21,657,458	28.3	19,683,239	△ 4.9	1,974,219
2 9	19,515,718	△ 9.9	19,719,490	0.2	△ 203,771
3 0	21,333,855	9.3	21,063,795	6.8	270,060
元 (C)	21,831,187	2.3	22,062,156	4.7	△ 230,968
2 (D)	22,529,525	3.2	23,453,769	6.3	△ 924,243
前年度比較 (D) - (C)	698,337	—	1,391,612	—	△ 693,274

(1) 総収益

医業収益は205億1,501万円で、前年度と比較して8,632万円増加している。この主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響等による入院患者数の減により入院収益が4億5,730万円減少した一方で、その他医業収益が3億8,601万円、患者1人当たりの診療単価の増などにより外来収益が1億5,761万円それぞれ増加したことである。

医業外収益は16億7,031万円で、前年度と比較して2億6,799万円増加している。この主な要因は、他会計補助金が1億8,004万円減少した一方で、新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確保事業等の県補助金が3億6,845万円、国庫補助金が6,424万円それぞれ増加したことである。

特別利益は、3億4,419万円で、前年度と比較して3億4,402万円増加している。この要因は、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金3億4,419万円の受入れによりその他特別利益が皆増したことである。

総収益構成

(単位：千円,%)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率
医 業 収 益	20,515,015	91.1	20,428,691	93.6	86,324	0.4
入 院 収 益	14,718,583	65.3	15,175,886	69.5	△ 457,303	△ 3.0
外 来 収 益	5,155,609	22.9	4,997,992	22.9	157,616	3.2
そ の 他 医 業 収 益	640,823	2.8	254,812	1.2	386,010	151.5
医 業 外 収 益	1,670,311	7.4	1,402,320	6.4	267,991	19.1
受 取 利 息 配 当 金	5,457	0.0	4,624	0.0	833	18.0
国 庫 補 助 金	105,593	0.5	41,350	0.2	64,242	155.4
県 補 助 金	739,272	3.3	370,815	1.7	368,457	99.4
負 担 金 交 付 金	490,983	2.2	455,208	2.1	35,775	7.9
他 会 計 補 助 金	94,026	0.4	274,067	1.3	△ 180,041	△ 65.7
受 託 収 益	57,440	0.3	51,612	0.2	5,828	11.3
長 期 前 受 金 戻 入	67,837	0.3	89,004	0.4	△ 21,167	△ 23.8
そ の 他 医 業 外 収 益	107,910	0.5	115,638	0.5	△ 7,728	△ 6.7
そ の 他 補 助 金	1,791	0.0	0	—	1,791	皆増
特 別 利 益	344,198	1.5	176	0.0	344,022	195,279.7
過 年 度 損 益 修 正 益	0	—	176	0.0	△ 176	皆減
そ の 他 特 別 利 益	344,198	1.5	0	—	344,198	皆増
合 計	22,529,525	100.0	21,831,187	100.0	698,337	3.2

次に、診療行為別医業収益を前年度と比較すると、増減額の大きなものは、入院が 31 億 4,835 万円で 1 億 9,302 万円、D P C（診断群分類別包括評価）が 63 億 7,201 万円で 7,856 万円の減、一方、注射が 22 億 7,019 万円で 9,211 万円の増である。

診療行為別医業収益構成

(単位：千円,%)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率
D P C	6,372,016	32.1	6,450,579	32.0	△ 78,562	△ 1.2
手 術	4,494,782	22.6	4,540,717	22.5	△ 45,935	△ 1.0
入 院	3,148,358	15.8	3,341,379	16.6	△ 193,020	△ 5.8
注 射	2,270,192	11.4	2,178,072	10.8	92,119	4.2
検 査	1,026,583	5.2	1,032,688	5.1	△ 6,105	△ 0.6
画 像 診 断	682,983	3.4	656,528	3.3	26,455	4.0
在 宅	438,920	2.2	497,869	2.5	△ 58,948	△ 11.8
そ の 他	427,140	2.1	386,303	1.9	40,836	10.6
食 事 療 養	278,377	1.4	298,785	1.5	△ 20,408	△ 6.8
指 導	222,465	1.1	232,588	1.2	△ 10,122	△ 4.4
処 置	170,354	0.9	172,601	0.9	△ 2,246	△ 1.3
投 薬	162,376	0.8	189,883	0.9	△ 27,506	△ 14.5
再 診	106,688	0.5	107,452	0.5	△ 763	△ 0.7
初 診	70,156	0.4	85,556	0.4	△ 15,400	△ 18.0
技 工	2,793	0.0	2,872	0.0	△ 78	△ 2.7
合 計	19,874,192	100.0	20,173,878	100.0	△ 299,686	△ 1.5

(注) 診療行為別医業収益は、入院収益＋外来収益

(2) 総費用

医業費用は216億2,781万円で、前年度と比較して7億8,293万円増加している。この主な要因は、給与費が3億6,941万円、経費が3億4,581万円それぞれ増加したことである。

医業外費用は14億6,616万円で、前年度と比較して2億5,655万円増加している。この主な要因は、消費税及び地方消費税雑損失の増により雑損失が2億6,376万円増加したことである。

特別損失は3億5,979万円で、前年度と比較して3億5,212万円増加している。この主な要因は、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金3億4,419万円の支払いによりその他特別損失が皆増したことである。

総費用構成

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A)－(B)	増 減 率
医 業 費 用	21,627,811	92.2	20,844,875	94.5	782,935	3.8
給 与 費	10,677,061	45.5	10,307,644	46.7	369,416	3.6
材 料 費	6,406,973	27.3	6,199,204	28.1	207,769	3.4
経 費	2,873,479	12.3	2,527,668	11.5	345,811	13.7
減 価 償 却 費	1,539,462	6.6	1,689,409	7.7	△ 149,946	△ 8.9
資 産 減 耗 費	70,986	0.3	22,280	0.1	48,706	218.6
研 究 研 修 費	59,847	0.3	98,668	0.4	△ 38,821	△ 39.3
医 業 外 費 用	1,466,166	6.3	1,209,614	5.5	256,551	21.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	285,767	1.2	292,984	1.3	△ 7,216	△ 2.5
長 期 前 払 消 費 税 額 償 却	67,271	0.3	67,271	0.3	0	—
雑 損 失	1,113,127	4.7	849,358	3.8	263,768	31.1
特 別 損 失	359,791	1.5	7,667	0.0	352,124	4,592.7
過 年 度 損 益 修 正 損	568	0.0	7,667	0.0	△ 7,098	△ 92.6
そ の 他 特 別 損 失	359,223	1.5	0	—	359,223	皆増
合 計	23,453,769	100.0	22,062,156	100.0	1,391,612	6.3

次に、性質別費用を前年度と比較すると、増減額の大きなものは、給与費が106億7,706万円で3億6,941万円、特別損失が3億5,979万円で3億5,212万円、雑損失が11億1,312万円で2億6,376万円の増、一方、減価償却費が15億3,946万円で1億4,994万円の減である。

性質別費用構成

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度		元 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率
給 与 費	10,677,061	45.5	10,307,644	46.7	369,416	3.6
薬 品 費	3,972,926	16.9	3,900,527	17.7	72,398	1.9
診 療 材 料 費	2,412,237	10.3	2,271,662	10.3	140,574	6.2
委 託 料	1,608,907	6.9	1,583,903	7.2	25,003	1.6
減 価 償 却 費	1,539,462	6.6	1,689,409	7.7	△ 149,946	△ 8.9
資 産 減 耗 費	70,986	0.3	22,280	0.1	48,706	218.6
修 繕 費	339,375	1.4	235,526	1.1	103,849	44.1
雑 損 失	1,113,127	4.7	849,358	3.8	263,768	31.1
そ の 他	1,359,892	5.8	1,194,176	5.4	165,715	13.9
特 別 損 失	359,791	1.5	7,667	0.0	352,124	4,592.7
合 計	23,453,769	100.0	22,062,156	100.0	1,391,612	6.3

(3) 患者1人1日当たりの医業収益及び医業費用

患者1人1日当たりの医業収益は57,823円、医業費用は60,960円となっており、医業費用が医業収益を3,137円上回っている。

これを前年度と比較すると、医業収益は3,892円、医業費用は5,930円それぞれ増加している。

患者1人1日当たりの医業収益が増加した主な要因は、外来化学療法室の拡充等により、外来収益が増加したことである。

また、医業費用が増加した主な要因は、給与費及び診療材料費や薬品費などの材料費がそれぞれ増加したことである。

患者1人1日当たりの医業収益及び医業費用の推移

(単位：円,%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	前年度比較	
						増 減 (B)-(A)	増減率
医 業 収 益 (C)	45,997	48,634	52,985	53,931	57,823	3,892	7.2
医 業 費 用 (D)	48,113	50,006	53,181	55,030	60,960	5,930	10.8
差 引 (C)-(D)	△ 2,116	△ 1,372	△ 196	△ 1,099	△ 3,137	△ 2,038	—

(4) 収益性分析

事業の収益性を前年度と比較すると、総収支比率は96.1%で2.9ポイント、経常収支比率は96.1%で2.9ポイント、営業収支比率は94.9%で3.1ポイントそれぞれ低下している。

各比率がいずれも低下した要因は、給与費や経費の増などにより、医業費用が増加したことである。

また、医業収益に対する医業費用の割合は105.4%で前年度より3.4ポイント上昇しており、その内訳の主なものは、給与費が52.0%で1.5ポイント上昇している。

収支比率の推移

(単位：%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増 減 (B)-(A)
総 収 支 率 $\left\{ \frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100 \right\}$	110.0	99.0	101.3	99.0	96.1	ポイント △ 2.9
経 常 収 支 率 $\left\{ \frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100 \right\}$	96.0	99.0	100.9	99.0	96.1	△ 2.9
営 業 収 支 率 $\left\{ \frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100 \right\}$	95.6	97.3	99.6	98.0	94.9	△ 3.1

医業収益に対する医業費用の割合の推移

(単位：%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増 減 (B)-(A)
医 業 収 益 に 対 す る 割 合	医 業 費 用	104.6	102.8	100.4	102.0	105.4 ポイント 3.4
	給 与 費	57.1	54.1	50.3	50.5	52.0 1.5
	材 料 費	25.2	27.1	29.5	30.3	31.2 0.9
	そ の 他	22.3	21.6	20.5	21.2	22.1 0.9

4 財政状態

(1) 資産

資産総額は404億1,235万円で、前年度と比較して5億3,608万円増加している。資産総額のうち固定資産は250億463万円で、前年度と比較して6億4,510万円増加している。この主な要因は、最新の高度医療機器や新型コロナウイルス感染症の治療機器等の導入及び電子カルテシステムの更新により器械備品が14億1,247万円増加したことである。

流動資産は154億771万円で、前年度と比較して1億902万円減少している。この主な要因は、医業費用の増加などにより、現金・預金が6億6,842万円減少したことである。

(2) 負債

負債総額は309億7,425万円で、前年度と比較して9億4,228万円増加している。

負債総額のうち固定負債は254億2,923万円で、前年度と比較して1億9,271万円増加している。この主な要因は、企業債が2億9,357万円増加したことである。

流動負債は39億4,452万円で、前年度と比較して5億5,983万円増加している。この主な要因は、企業債が3億7,236万円増加したことである。

繰延収益は16億49万円で、前年度と比較して1億8,972万円増加している。

(3) 資本

資本総額は94億3,809万円で、前年度と比較して4億620万円減少している。

資本総額のうち資本金は82億6,689万円で、前年度と比較して5億1,804万円増加している。これは、建設改良にかかる企業債の元金償還金を一般会計から出資金として繰り入れているものである。

剰余金は11億7,120万円で、前年度と比較して9億2,424万円減少している。これは、純損失9億2,424万円が生じたことによる。

なお、繰越利益剰余金年度末残高18億2,818万円から当年度純損失9億2,424万円を差し引いた当年度未処分利益剰余金は9億394万円となった。

比較貸借対照表

(単位：千円, %)

区 分	2 年 度 (A)	元 年 度 (B)	前 年 度 比 較	
			金 額 (A) - (B)	増 減 率
資 産	40,412,356	39,876,276	536,080	1.3
固 定 資 産	25,004,639	24,359,530	645,108	2.6
流 動 資 産	15,407,717	15,516,745	△ 109,028	△ 0.7
負 債	30,974,257	30,031,974	942,282	3.1
固 定 負 債	25,429,236	25,236,520	192,716	0.8
流 動 負 債	3,944,522	3,384,683	559,839	16.5
繰 延 収 益	1,600,498	1,410,771	189,727	13.4
資 本	9,438,098	9,844,301	△ 406,202	△ 4.1
資 本 金	8,266,896	7,748,855	518,041	6.7
剰 余 金	1,171,202	2,095,445	△ 924,243	△ 44.1

固定資産及び減価償却の推移

(単位：千円)

年度	固 定 資 産 年 度 末 残 高	減 価 償 却		固 定 資 産 償 却 未 済 高
		当 年 度 増 加 額	年 度 末 累 計 額	
28	34,161,382	1,769,731	6,301,135	27,860,247
29	34,685,320	1,798,756	7,832,685	26,852,635
30	34,820,133	1,870,024	9,455,757	25,364,376
元	35,234,753	1,756,832	10,875,223	24,359,530
2	36,622,108	1,606,733	11,617,469	25,004,639

企業債及び企業債利息の推移

(単位：千円)

年度	企 業 債			企 業 債 利 息
	借 入 額	償 還 額	年 度 末 残 高	
28	1,228,200	503,802	23,644,751	303,065
29	569,200	638,246	23,575,704	302,697
30	173,300	852,787	22,896,217	298,669
元	321,000	701,431	22,515,785	292,984
2	1,810,400	1,144,452	23,181,733	285,767

(4) 財務比率

財務比率についてみると、総資本に対する自己資本（資本金+剰余金+繰延収益）の占める割合を示す自己資本構成比率は27.3%で、前年度と比較して0.9ポイント低下している。当年度の比率が低下した主な要因は、剰余金が減少したことである。

また、長期資本（自己資本+固定負債）に対する固定資産の割合を示す固定長期適合率は68.6%で、前年度と比較して1.8ポイント上昇している。当年度の比率が上昇した主な要因は、最新の高度医療機器等の導入に伴う固定資産の増加及び剰余金の減少である。

流動負債に対する流動資産の割合を示す流動比率は390.6%で、前年度と比較して67.8ポイント低下している。当年度の比率が低下した主な要因は、平成26年度に病院建設事業のため借り入れた企業債の償還開始により流動負債が増加したことである。

財務比率の推移

(単位：%)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増 減 (B)-(A)
自己資本 構成比率 $\left\{ \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 \right\}$	26.7	26.5	28.0	28.2	27.3	△ 0.9 ポイント
固定長期 適合率 $\left\{ \frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}} \times 100 \right\}$	73.5	71.6	67.9	66.8	68.6	1.8
流動比率 $\left\{ \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 \right\}$	491.8	451.1	525.3	458.4	390.6	△ 67.8

5 資金の状況

当年度末における業務活動によるキャッシュ・フローは、2億9,233万円となり、前年度末と比較して11億199万円減少している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により△21億4,474万円となり、前年度末と比較して13億8,293万円減少している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入等により11億8,398万円となり、前年度末と比較して12億5,558万円増加している。

この結果、当年度の資金は6億6,842万円減少し、資金期末残高は112億7,825万円となっている。

比較キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（単位：千円）

区 分	2年度 (A)	元年度 (B)	増減(A)-(B)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(又は純損失)	△ 924,243	△ 230,968	△ 693,274
減価償却費	1,539,462	1,689,409	△ 149,946
固定資産除却費	59,291	16,799	42,491
長期前払消費税額償却	67,271	67,271	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 100,861	△ 34,113	△ 66,748
賞与引当金の増減額 (△は減少)	49,843	42,737	7,105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,879	△ 2,476	597
長期前受金戻入額	△ 67,837	△ 89,004	21,167
その他医業外収益	△ 21,804	0	△ 21,804
長期前払消費税額の修正額	0	586	△ 586
受取利息及び受取配当金	△ 5,457	△ 4,624	△ 833
支払利息	285,767	292,984	△ 7,216
未収金の増減額 (△は増加)	△ 429,740	△ 101,197	△ 328,543
未払金の増減額 (△は減少)	103,748	96,219	7,528
有価証券の増減額 (△は増加)	△ 40	0	△ 40
貯蔵品の増減額 (△は増加)	8,146	△ 49,325	57,472
前払金の増減額 (△は増加)	2	△ 21	23
預り金の増減額 (△は減少)	10,971	△ 11,585	22,557
小計	572,640	1,682,689	△ 1,110,048
利息及び配当金の受取額	5,457	4,624	833
利息の支払額	△ 285,767	△ 292,984	7,216
業務活動によるキャッシュ・フロー	292,331	1,394,329	△ 1,101,998
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 2,288,228	△ 775,716	△ 1,512,512
一般会計補助金による収入	61,754	0	61,754
その他補助金による収入	45,309	0	45,309
県補助金による収入	36,427	13,932	22,495
県補助金の返還による支出	△ 2	△ 17	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,144,740	△ 761,801	△ 1,382,939
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,810,400	321,000	1,489,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,023,632	△ 580,611	△ 443,020
その他の企業債の償還による支出	△ 120,820	△ 120,820	0
他会計からの出資による収入	518,041	308,833	209,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,183,988	△ 71,598	1,255,587
資金増加額 (又は減少額)	△ 668,421	560,928	△ 1,229,349
資金期首残高	11,946,673	11,385,745	560,928
資金期末残高	11,278,252	11,946,673	△ 668,421

6 その他

(1) 未収金

当年度末現在の未収金は39億8,569万円で、前年度と比較して5億6,562万円増加している。この主な要因は、病院事業収益の医業外収益が4億6,610万円、資本的収入が1億3,588万円それぞれ増加したことである。

未収金の主なものは、病院事業収益の医業収益における入院分22億3,744万円である。なお、過年度分の未収金は4,030万円で、前年度と比較して1,667万円減少している。

未収金内訳

(単位：千円)

年 度	病 院 事 業 収 益				資 本 的 収 入 国 庫 補 助 金 等	そ の 他 戻 入 金	計
	医 業 収 益		医 業 外 収 益 国 庫 補 助 金 等	特 別 利 益 過 年 度 損 益 修 正 益			
	入 院	外 来					
27年度 以 前	16,672	1,727	0	0	0	0	18,400
28	4,345	786	0	0	0	0	5,132
29	4,684	477	0	0	0	0	5,162
30	5,752	961	0	0	0	0	6,714
元	4,286	610	0	0	0	0	4,897
小 計 (過年度分)	35,741	4,564	0	0	0	0	40,305
2	2,201,700	754,329	852,570	0	135,881	904	3,945,385
当年度末 (A)	2,237,442	758,893	852,570	0	135,881	904	3,985,691
前年度末 (B)	2,304,332	728,961	386,462	176	0	136	3,420,069
(A) - (B)	△ 66,890	29,932	466,107	△ 176	135,881	767	565,621

(2) 不納欠損処分

当年度の不納欠損処分類は入院収益等の814万円で、前年度と比較して23万円減少している。不納欠損処分の理由は、主に債務者の生活困窮である。

不納欠損処分類の推移

(単位：千円)

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度 (A)	2年度 (B)	増 減 (B) - (A)
入 院 収 益	10,327	6,689	9,075	6,210	6,685	474
外 来 収 益	1,040	1,402	985	2,005	1,347	△ 658
そ の 他	0	500	339	166	110	△ 55
合 計	11,367	8,591	10,399	8,382	8,143	△ 239

7 むすび

病院事業においては、当年度は、脳卒中集中治療室（ＳＣＵ）の増床や外来化学療法室を拡充し、また最新の高度医療機器を導入するなど、救急医療、成育医療、がん診療を柱に高度で専門的な医療を提供するため、医療機能の強化、診療体制の充実を図るとともに、地域医療機関との連携に努めている。

また、病院就業管理システムや看護師勤務表作成システムを導入し、看護補助者を増員するなど、効率的な人員配置と医療従事者の負担軽減などの働き方改革等への対応を図っている。

経営面においては、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、外出制限等による受診控えや他医療機関からの紹介患者の減少及び救急救命センターへの搬入患者の減少に加え、新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保などもあり、前年度に比べ入院収益が大幅に減少した一方で、給与費や経費等が増加したことにより 9 億 2,424 万円の純損失となった。

なお、新型コロナウイルス感染症関連費用については、検査及び治療機器等の購入経費や新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金など、概ね収支が見合うよう補助金等で賄われているほか、病床や診療体制の確保に関する補てんがなされている。

依然として、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中で、経営改善を図るため、収益の拡大に向けた取組を継続するとともに、費用の抑制に向けた取組に引き続き努めることが重要であり、現下の状況を踏まえた経営計画の見直しが必要である。

なお、その際には、一般会計から繰り入れている出資金については、企業債で購入した資産の減価償却費を賄う収入でもあることから、繰延収益に計上し、長期前受金として収益化する方策を検討されたい。

医業未収金については、弁護士法人への委託などの取組により、過年度分は着実に減少してきている。引き続き負担の公平を図るため、窓口での相談体制の充実など未収金の発生防止や、収納嘱託員による未収金の早期回収に努められたい。

今後とも、高度・専門医療の充実や地域医療機関等との連携をさらに図り、引き続き各面からの安定経営に向けた取組を行い、市民の信頼と期待に応える県下の中核的医療機関として、安心安全な質の高い医療の提供に努められたい。

付 表

2年度病院事業損益計算書	24
病院事業損益計算書（対前年度比較）	26
2年度病院事業貸借対照表	28
病院事業貸借対照表（対前年度比較）	30
病院事業キャッシュ・フロー計算書（対前年度比較）	32
病院事業財務分析比率等比較表	34

2年度病院事業損益計算書

費用の部			
科目	金額	内容比率	構成比率
医業費用	21,627,811,221	100.0	92.2
給与費	10,677,061,351	49.4	45.5
材料費	6,406,973,477	29.6	27.3
経費	2,873,479,281	13.3	12.3
減価償却費	1,539,462,757	7.1	6.6
資産減耗費	70,986,745	0.3	0.3
研究研修費	59,847,610	0.3	0.3
医業外費用	1,466,166,277	100.0	6.3
支払利息及び企業債取扱諸費	285,767,728	19.5	1.2
長期前払消費税額償却	67,271,000	4.6	0.3
雑損失	1,113,127,549	75.9	4.7
特別損失	359,791,563	100.0	1.5
過年度損益修正損	568,405	0.2	0.0
その他特別損失	359,223,158	99.8	1.5
合計	23,453,769,061		100.0

(単位：円,%)

収 益 の 部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
医 業 収 益	20,515,015,791	100.0	91.1
入 院 収 益	14,718,583,007	71.7	65.3
外 来 収 益	5,155,609,051	25.1	22.9
そ の 他 医 業 収 益	640,823,733	3.1	2.8
医 業 外 収 益	1,670,311,461	100.0	7.4
受 取 利 息 配 当 金	5,457,966	0.3	0.0
国 庫 補 助 金	105,593,018	6.3	0.5
県 補 助 金	739,272,560	44.3	3.3
負 担 金 交 付 金	490,983,527	29.4	2.2
他 会 計 補 助 金	94,026,000	5.6	0.4
受 託 収 益	57,440,000	3.4	0.3
長 期 前 受 金 戻 入	67,837,105	4.1	0.3
そ の 他 医 業 外 収 益	107,910,285	6.5	0.5
そ の 他 補 助 金	1,791,000	0.1	0.0
特 別 利 益	344,198,440	100.0	1.5
そ の 他 特 別 利 益	344,198,440	100.0	1.5
計	22,529,525,692		100.0
当 年 度 純 損 失	924,243,369		—
合 計	23,453,769,061		—

病院事業損益計算書（対前年度比較）

費 用 の 部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増減率
医 業 費 用	21,627,811,221	20,844,875,531	782,935,690	3.8
給 与 費	10,677,061,351	10,307,644,495	369,416,856	3.6
材 料 費	6,406,973,477	6,199,204,185	207,769,292	3.4
経 費	2,873,479,281	2,527,668,233	345,811,048	13.7
減 価 償 却 費	1,539,462,757	1,689,409,013	△ 149,946,256	△ 8.9
資 産 減 耗 費	70,986,745	22,280,641	48,706,104	218.6
研 究 研 修 費	59,847,610	98,668,964	△ 38,821,354	△ 39.3
医 業 外 費 用	1,466,166,277	1,209,614,374	256,551,903	21.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	285,767,728	292,984,458	△ 7,216,730	△ 2.5
長 期 前 払 消 費 税 額 償 却	67,271,000	67,271,000	0	—
雑 損 失	1,113,127,549	849,358,916	263,768,633	31.1
特 別 損 失	359,791,563	7,667,006	352,124,557	4,592.7
過 年 度 損 益 修 正 損	568,405	7,667,006	△ 7,098,601	△ 92.6
そ の 他 特 別 損 失	359,223,158	0	359,223,158	皆増
合 計	23,453,769,061	22,062,156,911	1,391,612,150	6.3

(単位：円,%)

収 益 の 部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増減率
医 業 収 益	20,515,015,791	20,428,691,508	86,324,283	0.4
入 院 収 益	14,718,583,007	15,175,886,606	△ 457,303,599	△ 3.0
外 来 収 益	5,155,609,051	4,997,992,061	157,616,990	3.2
そ の 他 医 業 収 益	640,823,733	254,812,841	386,010,892	151.5
医 業 外 収 益	1,670,311,461	1,402,320,283	267,991,178	19.1
受 取 利 息 配 当 金	5,457,966	4,624,162	833,804	18.0
国 庫 補 助 金	105,593,018	41,350,831	64,242,187	155.4
県 補 助 金	739,272,560	370,815,000	368,457,560	99.4
負 担 金 交 付 金	490,983,527	455,208,000	35,775,527	7.9
他 会 計 補 助 金	94,026,000	274,067,000	△ 180,041,000	△ 65.7
受 託 収 益	57,440,000	51,612,000	5,828,000	11.3
長 期 前 受 金 戻 入	67,837,105	89,004,796	△ 21,167,691	△ 23.8
そ の 他 医 業 外 収 益	107,910,285	115,638,494	△ 7,728,209	△ 6.7
そ の 他 補 助 金	1,791,000	0	1,791,000	皆増
特 別 利 益	344,198,440	176,169	344,022,271	195,279.7
過 年 度 損 益 修 正 益	0	176,169	△ 176,169	皆減
そ の 他 特 別 利 益	344,198,440	0	344,198,440	皆増
計	22,529,525,692	21,831,187,960	698,337,732	3.2
当 年 度 純 損 失	924,243,369	230,968,951	693,274,418	300.2
合 計	23,453,769,061	22,062,156,911	1,391,612,150	6.3

2年度病院事業貸借対照表

資 産 の 部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
固 定 資 産	25,004,639,003	100.0	61.9
有 形 固 定 資 産	24,094,815,744	96.4	59.6
土 地	5,579,377,301	22.3	13.8
建 物	13,389,384,958	53.5	33.1
構 築 物	763,376,456	3.1	1.9
器 械 備 品	4,342,727,008	17.4	10.7
車 両	19,950,021	0.1	0.0
無 形 固 定 資 産	155,232	0.0	0.0
電 話 加 入 権	155,232	0.0	0.0
投 資 そ の 他 の 資 産	909,668,027	3.6	2.3
長 期 前 払 消 費 税 額	909,668,027	3.6	2.3
流 動 資 産	15,407,717,382	100.0	38.1
現 金 ・ 預 金	11,278,252,882	73.2	27.9
未 収 金	3,985,691,144	25.9	9.9
貸 倒 引 当 金	△ 4,917,573	△ 0.0	△ 0.0
有 価 証 券	40,000	0.0	0.0
貯 蔵 品	148,174,669	1.0	0.4
前 払 金	476,260	0.0	0.0
合 計	40,412,356,385		100.0

(単位：円,%)

負債及び資本の部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
固 定 負 債	25,429,236,498	100.0	62.9
企 業 債	21,664,911,455	85.2	53.6
建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,093,911,455	83.0	52.2
その他の企業債	571,000,000	2.2	1.4
引 当 金	3,764,325,043	14.8	9.3
退職給付引当金	3,764,325,043	14.8	9.3
流 動 負 債	3,944,522,150	100.0	9.8
企 業 債	1,516,822,134	38.5	3.8
建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,396,002,134	35.4	3.5
その他の企業債	120,820,000	3.1	0.3
未 払 金	1,701,087,823	43.1	4.2
預 り 金	81,154,138	2.1	0.2
引 当 金	645,458,055	16.4	1.6
賞 与 引 当 金	645,458,055	16.4	1.6
繰 延 収 益	1,600,498,758	100.0	4.0
長 期 前 受 金	2,471,306,552	154.4	6.1
受 贈 財 産 評 価 額	41,275,895	2.6	0.1
補 助 金 ・ 交 付 金	2,426,030,657	151.6	6.0
寄 附 金	4,000,000	0.2	0.0
収 益 化 累 計 額	△ 870,807,794	△ 54.4	△ 2.2
受 贈 財 産 評 価 額	△ 38,771,793	△ 2.4	△ 0.1
補 助 金 ・ 交 付 金	△ 829,876,007	△ 51.9	△ 2.1
寄 附 金	△ 2,159,994	△ 0.1	△ 0.0
負 債 合 計	30,974,257,406		76.6
資 本 金	8,266,896,863	100.0	20.5
剰 余 金	1,171,202,116	100.0	2.9
資 本 剰 余 金	267,260,000	22.8	0.7
補 助 金 ・ 交 付 金	267,260,000	22.8	0.7
利 益 剰 余 金	903,942,116	77.2	2.2
当年度未処分利益剰余金	903,942,116	77.2	2.2
繰越利益剰余金年度末残高	1,828,185,485	156.1	4.5
当年度純利益(△純損失)	△ 924,243,369	△ 78.9	△ 2.3
資 本 合 計	9,438,098,979		23.4
合 計	40,412,356,385		100.0

病院事業貸借対照表（対前年度比較）

資 産 の 部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増減率
固 定 資 産	25,004,639,003	24,359,530,300	645,108,703	2.6
有 形 固 定 資 産	24,094,815,744	23,382,436,041	712,379,703	3.0
土 地	5,579,377,301	5,579,377,301	0	—
建 物	13,389,384,958	14,023,242,575	△ 633,857,617	△ 4.5
構 築 物	763,376,456	829,866,823	△ 66,490,367	△ 8.0
器 械 備 品	4,342,727,008	2,930,254,239	1,412,472,769	48.2
車 両	19,950,021	19,695,103	254,918	1.3
無 形 固 定 資 産	155,232	155,232	0	—
電 話 加 入 権	155,232	155,232	0	—
投 資 そ の 他 の 資 産	909,668,027	976,939,027	△ 67,271,000	△ 6.9
長 期 前 払 消 費 税 額	909,668,027	976,939,027	△ 67,271,000	△ 6.9
流 動 資 産	15,407,717,382	15,516,745,946	△ 109,028,564	△ 0.7
現 金 ・ 預 金	11,278,252,882	11,946,673,902	△ 668,421,020	△ 5.6
未 収 金	3,985,691,144	3,420,069,377	565,621,767	16.5
貸 倒 引 当 金	△ 4,917,573	△ 6,796,924	1,879,351	△ 27.7
有 価 証 券	40,000	0	40,000	皆増
貯 蔵 品	148,174,669	156,321,116	△ 8,146,447	△ 5.2
前 払 金	476,260	478,475	△ 2,215	△ 0.5
合 計	40,412,356,385	39,876,276,246	536,080,139	1.3

(単位：円,%)

負債及び資本の部				
科 目	2 年 度	元 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増減率
固 定 負 債	25,429,236,498	25,236,520,385	192,716,113	0.8
企 業 債	21,664,911,455	21,371,333,589	293,577,866	1.4
建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,093,911,455	20,679,513,589	414,397,866	2.0
その他の企業債	571,000,000	691,820,000	△ 120,820,000	△ 17.5
引 当 金	3,764,325,043	3,865,186,796	△ 100,861,753	△ 2.6
退職給付引当金	3,764,325,043	3,865,186,796	△ 100,861,753	△ 2.6
流 動 負 債	3,944,522,150	3,384,683,082	559,839,068	16.5
企 業 債	1,516,822,134	1,144,452,146	372,369,988	32.5
建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,396,002,134	1,023,632,146	372,369,988	36.4
その他の企業債	120,820,000	120,820,000	0	—
未 払 金	1,701,087,823	1,574,434,383	126,653,440	8.0
預 り 金	81,154,138	70,182,178	10,971,960	15.6
引 当 金	645,458,055	595,614,375	49,843,680	8.4
賞 与 引 当 金	645,458,055	595,614,375	49,843,680	8.4
繰 延 収 益	1,600,498,758	1,410,771,431	189,727,327	13.4
長 期 前 受 金	2,471,306,552	2,356,747,520	114,559,032	4.9
受 贈 財 産 評 価 額	41,275,895	44,183,095	△ 2,907,200	△ 6.6
補 助 金 ・ 交 付 金	2,426,030,657	2,308,564,425	117,466,232	5.1
寄 附 金	4,000,000	4,000,000	0	—
収 益 化 累 計 額	△ 870,807,794	△ 945,976,089	75,168,295	△ 7.9
受 贈 財 産 評 価 額	△ 38,771,793	△ 41,021,728	2,249,935	△ 5.5
補 助 金 ・ 交 付 金	△ 829,876,007	△ 903,154,366	73,278,359	△ 8.1
寄 附 金	△ 2,159,994	△ 1,799,995	△ 359,999	20.0
負 債 合 計	30,974,257,406	30,031,974,898	942,282,508	3.1
資 本 金	8,266,896,863	7,748,855,863	518,041,000	6.7
剰 余 金	1,171,202,116	2,095,445,485	△ 924,243,369	△ 44.1
資 本 剰 余 金	267,260,000	267,260,000	0	—
補 助 金 ・ 交 付 金	267,260,000	267,260,000	0	—
利 益 剰 余 金	903,942,116	1,828,185,485	△ 924,243,369	△ 50.6
当年度未処分利益剰余金	903,942,116	1,828,185,485	△ 924,243,369	△ 50.6
繰越利益剰余金年度末残高	1,828,185,485	2,059,154,436	△ 230,968,951	△ 11.2
当年度純利益(△純損失)	△ 924,243,369	△ 230,968,951	△ 693,274,418	300.2
資 本 合 計	9,438,098,979	9,844,301,348	△ 406,202,369	△ 4.1
合 計	40,412,356,385	39,876,276,246	536,080,139	1.3

病院事業キャッシュ・フロー計算書(対前年度比較)

区 分	2 年 度
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益（又は純損失）	△ 924,243,369
減価償却費	1,539,462,757
固定資産除却費	59,291,550
長期前払消費税額償却	67,271,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 100,861,753
賞与引当金の増減額（△は減少）	49,843,680
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 1,879,351
長期前受金戻入額	△ 67,837,105
その他医業外収益	△ 21,804,530
長期前払消費税額の修正額	0
受取利息及び受取配当金	△ 5,457,966
支払利息	285,767,728
未収金の増減額（△は増加）	△ 429,740,767
未払金の増減額（△は減少）	103,748,371
有価証券の増減額（△は増加）	△ 40,000
貯蔵品の増減額（△は増加）	8,146,447
前払金の増減額（△は増加）	2,215
預り金の増減額（△は減少）	10,971,960
小計	572,640,867
利息及び配当金の受取額	5,457,966
利息の支払額	△ 285,767,728
業務活動によるキャッシュ・フロー	292,331,105
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 2,288,228,941
一般会計補助金による収入	61,754,000
その他補助金による収入	45,309,000
県補助金による収入	36,427,000
県補助金の返還による支出	△ 2,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,144,740,979
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,810,400,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,023,632,146
その他の企業債の償還による支出	△ 120,820,000
他会計からの出資による収入	518,041,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,183,988,854
資金増加額（又は減少額）	△ 668,421,020
資金期首残高	11,946,673,902
資金期末残高	11,278,252,882

(注) 本表は、間接法により作成している。

(単位：円)

元年度	増減額
△ 230,968,951	△ 693,274,418
1,689,409,013	△ 149,946,256
16,799,801	42,491,749
67,271,000	0
△ 34,113,599	△ 66,748,154
42,737,969	7,105,711
△ 2,476,949	597,598
△ 89,004,796	21,167,691
0	△ 21,804,530
586,286	△ 586,286
△ 4,624,162	△ 833,804
292,984,458	△ 7,216,730
△ 101,197,389	△ 328,543,378
96,219,760	7,528,611
0	△ 40,000
△ 49,325,870	57,472,317
△ 21,555	23,770
△ 11,585,187	22,557,147
1,682,689,829	△ 1,110,048,962
4,624,162	833,804
△ 292,984,458	7,216,730
1,394,329,533	△ 1,101,998,428

△ 775,716,760	△ 1,512,512,181
0	61,754,000
0	45,309,000
13,932,000	22,495,000
△ 17,120	15,082
△ 761,801,880	△ 1,382,939,099

321,000,000	1,489,400,000
△ 580,611,972	△ 443,020,174
△ 120,820,000	0
308,833,000	209,208,000
△ 71,598,972	1,255,587,826

560,928,681	△ 1,229,349,701
11,385,745,221	560,928,681
11,946,673,902	△ 668,421,020

病院事業財務分析比率等比較表

分析項目		算式
構成比率	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}}{\text{総資本（負債＋資本）}} \times 100$
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
財務	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本（固定負債＋資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
	負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
比	固定負債比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
率	当座比率 (酸性試験比率)	$\frac{\text{当座資産（現金預金＋未収金－貸倒引当金）}}{\text{流動負債}} \times 100$
	総資本利益率	$\frac{\text{純利益（△純損失）}}{\text{平均総資本（（前年度総資本＋当年度総資本）÷2）}} \times 100$
益	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
率	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
	回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{平均固定資産（（期首固定資産＋期末固定資産）÷2）}} \times 100$
その他	企業債元利償還金対 料金収入比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$

(単位：円, %, 回)

2 年 度 (A)		元年度 (B)	30年度 (C)	対 前 年 度 増 減	
				2 年 度 (A) - (B)	元 年 度 (B) - (C)
$\frac{11,038,597,737}{40,412,356,385} \times 100$	27.3	28.2	28.0	ポイント △ 0.9	ポイント 0.2
$\frac{25,004,639,003}{11,038,597,737} \times 100$	226.5	216.4	225.1	10.1	△ 8.7
$\frac{25,004,639,003}{36,467,834,235} \times 100$	68.6	66.8	67.9	1.8	△ 1.1
$\frac{30,974,257,406}{11,038,597,737} \times 100$	280.6	266.8	270.0	13.8	△ 3.2
$\frac{25,429,236,498}{11,038,597,737} \times 100$	230.4	224.2	231.6	6.2	△ 7.4
$\frac{15,407,717,382}{3,944,522,150} \times 100$	390.6	458.4	525.3	△ 67.8	△ 66.9
$\frac{15,259,026,453}{3,944,522,150} \times 100$	386.8	453.8	521.5	△ 67.0	△ 67.7
$\frac{\triangle 924,243,369}{40,144,316,316} \times 100$	△ 2.3	△ 0.6	0.7	△ 1.7	△ 1.3
$\frac{22,529,525,692}{23,453,769,061} \times 100$	96.1	99.0	101.3	△ 2.9	△ 2.3
$\frac{22,185,327,252}{23,093,977,498} \times 100$	96.1	99.0	100.9	△ 2.9	△ 1.9
$\frac{20,515,015,791}{21,627,811,221} \times 100$	94.9	98.0	99.6	△ 3.1	△ 1.6
$\frac{20,515,015,791}{24,682,084,652} \times 100$	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0
$\frac{1,306,933,727}{19,874,192,058} \times 100$	6.6	4.3	5.3	2.3	△ 1.0

